

平成21 年度 地域流通モデル構築支援事業
(商店街活性化タイプ)
モデル実証事業報告書

(事業名) 南三陸町食彩交流ネットワーク事業
(食育と地域協働活性化プロジェクト)

(事業実施地区) 宮城県本吉郡南三陸町
志津川字南町 (おさかな通り) 地

(事業申請者) (株)マルセン食品

第1章 事業の目的、特徴

第1節 事業の目的

景気の低迷や消費の流出により、日用品・雑貨店等が苦戦しており当町の人口減少や後継者不足も相まって賑わいが急速に失われつつある。

本事業の実施を予定している宮城県南三陸町の「おさかな通り商店街」についても他地域との差別化を図るため、水産物取扱店をメインにした商店街の活性化に取り組んでいるが、当該商店街単独では大漁市などの物産イベントを開催する程度にとどまっている。

町内農漁家と契約し、地元生産物を安定的に供給できるシステムを構築することによる生産意欲の向上と安定収入の確保を図る。

- ・商店街の空き店舗を活用し、地元農林水産物をベースに「食育」と「協働」による事業展開を行う。
- ・生産者、流通、商店街が一体となり、地域密着型のコミュニティービジネスとして展開することにより当該商店街の日常的な賑わいを取り戻すことを目的とする。
 - 地元商店街の集客アップ及び弊社の経営安定化を図る。
 - 「おさかな通り商店街」の日常的な賑わいや固定客及び観光客の確保。
 - 新たな雇用の場の創出及び遊休農地解消対策を図る。

第2節 事業の特徴

全国新がんばる商店街77選に選出された「おさかな通り商店街」にこれまでの観光客向けの買物通りや一過性のイベント通りとしてではなく、地域の台所としての機能も持たせ、地元の新鮮な食材の魅力を再発見する拠点施設として地元農漁業者の生産意欲の向上と賑わいの創出を図った。

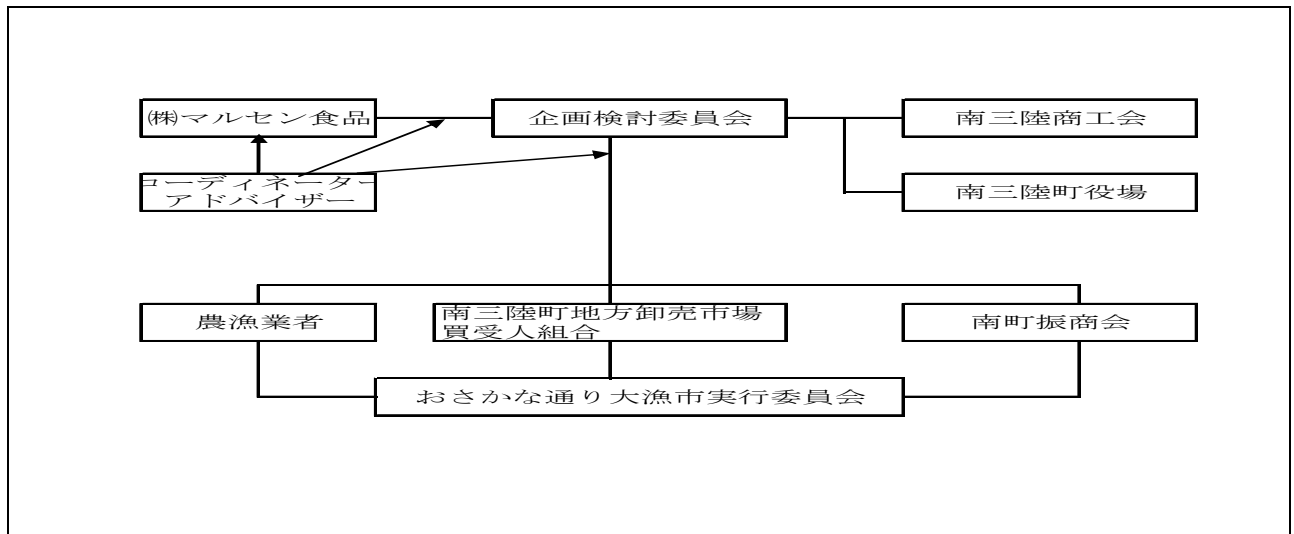
(事業の実施体制の特徴等)

- ・当該事業全般における円滑な事業運営を図るため(株)東北地域環境研究室代表で南三陸町ブランド塾塾長でもある志賀秀一氏をコーディネーターとして迎え生鮮野菜農家発掘、指導をいただいた。
- ・生産者グループとの契約により新鮮な地元農林水産物を直接仕入れることによる農漁家の安定した生産・供給体制を継続的に行うネットワークを確立する。
- ・当該事業の趣旨を踏まえ「おさかな通り商店街」における生産者と販売者の双方性循環型経済の拠点施設とするため、当該商店街の商品設定や陳列等の戦術指導を行っている中村デザイン事務所代表中村通氏をアドバイザーとして迎え店舗内のオープンキッチン等の改装を行う。
- ・産地の明確化による生産者の顔が見える安心安全な商品を提供する。

第2章 事業実施報告書

第1節 企画検討会の開催報告

◆協力体制の体系図



企画検討会の構成

	氏 名	所 属	役 職
検討委員	山 内 範 一	林際21の会	会長
	行 場 靖	(株)気仙沼行場商店	代表取締役
	菅 原 勝 則	南町振商会	会長
	山 内 正 文	おさかな通り大漁市実行委員会	実行委員長
	中 村 通	中村デザイン事務所	代表
	三 浦 洋 昭	(株)マルセン食品	代表取締役



企画検討会等の開催及び活動状況①

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成21年 11月 5日 (木) 午後3時30分から	南三陸商工会 2階会議室	第1回企画検討委員会 ○平成21年度地域流通モデル構築支援事業（商店街活性化タイプ）モデル実証事業（案）について ○今後の事業スケジュールについて	出席者 11名





(株)マルセン食品 代表取締役 三浦洋昭（宮城県本吉郡南三陸町志津川字大森町19）の司会進行により委員会を開会し、ランドブレイン榎榎木信男 都市・政策グループ長（東京都千代田区平河町1-2-10 平河町第一生命ビル7階）より本事業の目的や内容及びスケジュールなどの説明を受ける。

企画検討会の開催状況②

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成21年 12月16日（水） 午後3時30分から	南三陸商工会 2階会議室	第2回企画検討委員会 ○平成21年度地域流通モデル構築支援事業（商店街活性化タイプ）モデル実証事業（案）について	出席者 11名
			

今後の事業推進体制などについて協議し、その中で、長野県商店街振興組合連合会の阿部眞一代表理事さんから現在の消費者の求めているものや高齢化社会への対応、そして商店街はコミュニケーションの場等についての事例紹介。

企画検討会の開催状況③


年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成22年 2月17日（水） 午後3時から	南三陸商工会 2階会議室	第3回企画検討委員会 ○平成21年度地域流通モデル構築支援事業（商店街活性化タイプ）モデル実証事業の報告等について	出席者 6名
			

今まで実施して来たモデル実証事業について、集客や販売状況などの報告を行い、その後は、農産品の生産販売体制や今後の店舗展開並びに地域商店街との接点などについて参加者の方々から意見を頂く。


第2節 現地指導調査、コーディネーター活動の実施報告

1) 現地指導調査の報告


現地指導調査①

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成21年 12月14日(月) 午後7時から	南三陸商工会 2階会議室	第1回現地指導 中村デザイン事務所中村通先生 1) 畑と台所を結ぶコンセプト&販売視点等について関係者が指導を受ける。	出席者 21名
		<p>専門講師の中村デザイン事務所 中村通先生から、畑と台所を結ぶコンセプト&販売視点について、農産品委託販売マニュアルについてなど関係者が一堂に会して意見交換を行い、お互いが現状を認識し今後の進め方などについて協議。</p>	

現地指導調査②



年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成22年 1月19日(火) 午後4時から	南三陸町志津川字 本浜町128番地	第2回現地指導 中村デザイン事務所中村通先生 1) 前回の畑と台所を結ぶコンセプト&販売視点等について継続して指導を受ける。	出席者 3名
		<p>花野果市場(美里町農産直売所)の情報提供や生産者は自分が作った野菜などと思っているが、一端店頭で陳列すれば「(株)マルセン食品」の商品となる事の徹底を図ること。</p> <p>生産する品種及び時期など農業カレンダーなどのようなスタイルでお互いが確認できる方法の導入を検討してはどうか等指導を受ける。</p>	

現地指導調査③

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成22年 2月16日(火) 午後4時から	南三陸町志津川字 南町7	第3回現地指導 中村デザイン事務所中村通先生 1) 前回の畑と台所を結ぶコンセプト&販売視点等について継続して指導を受けました。	出席者 5名
		<p>前回の指導を踏まえて店舗内の陳列とPOP等の表現方法について具体的な指導を受ける。</p> <p>生産者は、「安全・安心」な野菜等を作れば売れると思っているが、消費者側からすれば購入する野菜の調理法など具体的な説明が無いと売れない時代になっており、単なる価格表示から消費者が必要としている情報提供の指導を受ける。</p>	

2) コーディネーター活動の報告



コーディネーター活動状況①

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成21年 12月20日(日) 午後1時30分から	街なか交流館 2 階会議室と改装店 舗内	第1回コーディネーター 志賀秀一先生 農家との接点をもって、安定的な供給確保が行える体制づくりの構築が必要等の指導を受ける。 店舗改装などで、テーブルなどの仕舞うスペースが無いこともあるので、レイアウトには配慮すること。 ライトアップの方法なども今後は検証すること。 農産物の準備のため、複数の農家の紹介。	出席者 8名
			

《コーディネーター活動を通して志賀秀一先生から紹介、発掘していただいた仕入先農家》

- 1) 菅原光代 46-6768 南三陸町入谷字岩沢13
- 2) 佐藤豊子 46-9448 南三陸町戸倉字町78
- 3) 鈴木かつえ 46-9113 南三陸町戸倉字沖田56-1
- 4) 芳賀孝義 46-3314 南三陸町志津川字大久保1-3
- 5) 首藤久勝 46-6883 南三陸町入谷字中ノ町62

コーディネーター活動状況②

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成22年 2月4日(木) 午後1時30分から	街なか交流館施設 内と改装店舗内	第2回コーディネーター 志賀秀一先生 入り易い店作りの工夫が必要である。又、店舗を外から見た場合に昼間でも灯りが無いと、人は入りにくい傾向があるので、灯りも重要な要素になる。 冬期間などは日没も早いので、灯りの効果は非常に大きい、又、露地野菜を主体にした生産体制では、安定供給が大変であり提供する農家の戸数を増やすか農家グループの確保が必要。	出席者 10名
			

3) 自主的な活動会議の状況

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成22年 1月18日(月) 午後1時45分～	さんさん館脇 の農産即売所	第1回生産者の方々との会議 ○平成21年度地域流通モデル構築支援事業(商店 街活性化タイプ)モデル実証事業(案)について	出席者 11名

南三陸町産業振興課のアドバイスにより、(株)マルセン食品(三浦洋昭)、生産者、J A南三陸、行政、商工会の関係者が集まり農産品の直販所の実情などの情報交換。

第3節 店舗改装、広報活動の実施報告

1) 店舗改装の報告

改装工事期間	
平成21年11月1日から平成22年 2月 8日まで	
	
改装前の外装	改装前の正面から撮影
	
改装前の内部、中央が出入り口	改装前の内部、壁面
	
改装後の内部、中央が出入り口	改装後の内部



改装後の外装



改装後の正面

1) 広報活動の報告

実施期間	内 容	備考
平成21年12月16日(水)	店舗改装に伴うオープンチラシ	5千部
平成22年 1月24日(日)	当店舗売出しチラシと「おさかな通り大漁市実行委員会」の寒鰯まつり事業等や地区イベント情報提供	3万部
平成22年 2月25日(木) 26日(金)	当店舗の売出しチラシ、地区のイベント情報等の提供	3万部

2) オープニング

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成21年 12月16日(水) 午前9時から	南三陸町志津川 字南町7	○平成21年度地域流通モデル構築支援事業(商店街活性化タイプ)モデル実証事業	販売を開始
			
<p>当店舗内の販売風景</p>		<p>当店舗全景</p>	

3) 寒鰯まつり事業への参加

年 月 日	場 所	内 容	備 考
平成22年 1月24日(日) 午前9時から	南三陸町志津川 字南町7	○平成21年度地域流通モデル構築支援事業(商店街活性化タイプ)モデル実証事業	店舗前は、賑わっております。



当店舗前での販売風景

当店舗前の路上の状態

当日は天候に恵まれ、当店舗は大賑わい。

第4節 事業結果報告

1) 仕入れ方法、販売品目の概要

野菜関係（コーディネーターの発掘農家を含む農家ネットワーク団体から仕入れ）

仕入先：「林際21」（農家ネットワーク）代表 山内範一

品 名
1, 白菜 2, ほうれんそう 3, 人参 4, 大根 5, 里芋 6, ごぼう 7, ちじみほうれんそう 8, なばな 9, タマネギ 10, じゃがいも 11, 切り干し大根 12, 切り干し人参 13, 古代米（南三陸産） 14, 米粉 15, そば粉 16, 団子粉 17, あずき 18, 黒豆 19, いんげん 20, ねぎ 21, ちんげん菜 22, つぼみな 23, ブロッコリー 24, カリフラワー 25, 干し柿 26, リンゴ 27, 椎茸（生） 28, 切り餅 29, 青豆

魚関係

仕入先：宮城県漁業協同組合志津川支所 魚市場

品 名
1, たら 2, カレイ 3, アイナメ 4, ひらめ 5, なめたカレイ 6, 赤カレイ 7, サメ 8, すけそうタラ 9, アンコー 10, 干しカレイ 11, 真いか 12, やりイカ 13, 水タコ 14, 真タコ 15, メバル 16, ホウボウ 17, スエ 18, クロソイ 19, 鮭 20, ホタテ 21, ホヤ 22, カキ 23, 生若布 24, 生まつも 25, ふのり 26, ひじき 27, 白魚 28, めかぶ

2) 売上の分析

販売期間は、平成21年12月16日から平成22年2月15日まで各月毎の売上は別添資料のとおりです。

平成21年12月16日から販売開始を行い、その後1週間単位で改装店舗と既存店舗売上金額と前年同月の売上金額で比較を行いました。

12月は、販売開始当初は低調であったがその後、広告などの効果により年末には大幅な増加傾向を示し前年並みの水準となっている。

1月は、各週ごとの集計でも前年を上回っており、特におさかな通りで事業である寒鰯まつり（1/24）の効果が大きく集客並びに売上に寄与しており、順調に売上金額を伸ばしている。

2月は、露地野菜の安定的な供給を行うことが厳しい季節になり低調傾向にあり、前年比でも下回ってはいるが、今後の野菜の安定供給体制の構築により売上の伸びが期待できる。

3) 来街者調査の報告

オープン前の平成21年12月4日(金)と6日(日)、第二金曜日の12月11日(金)と13日(日)の4回実施。

オープン後は、12月18日(金)と20日(日)、平成22年1月と2月は、第二金曜日(1/8, 2/12)と第二日曜日(1/10, 2/14)の6回、延べ10回実施。

オープン前の来街者



月 日	曜日	歩行者	自転車	車両	計	平均気温
12月 4日	金	67	51	600	718	5.6℃
12月 6日	日	31	23	438	492	9.0℃
12月11日	金	50	25	645	720	6.3℃
12月13日	日	25	19	398	442	5.0℃
オープン前合計		173	118	2,081	2,372	
オープン前平均		43.3	29.5	520.3	593.	

月 日	曜日	歩行者	自転車	車両	計	平均気温
12月18日	金	88	24	607	719	-1.5℃
12月20日	日	48	27	445	520	1.3℃
1月 8日	金	73	38	553	664	0.9℃
1月10日	日	46	21	522	589	2.0℃
2月12日	金	74	13	470	557	-1.6℃
2月14日	日	30	11	440	481	-1.3℃
オープン後の合計		359	134	3,037	3,530	
オープン後の平均		59.8	22.3	588.3	588.3	
合計		532	252	5,118	5,902	*歩行者=人、自転
平均		53.2	25.2	511.8	590.2	車・車両=台

歩行者の来街者は、オープン前よりオープン後では、37%増加しており、休日の場合は全体の数(人・自転車・車両の合計)に占める車両の割合が平日より高い傾向を示している。

当店舗の向かいには、平成21年11月15日に「街なか交流館(1階がパブリックなオープンスペースでトイレ完備、2階は観光協会の事務所となっております。)」がオープンしており、おさかな通りの有効活用と賑わい創出を行っているので、当店も相乗効果に期待したい。

来街者調査マルセン食品南町店前にて(街なか交流館1階パブリックスペースにて調査)

年 月 日	内 容	備 考
平成21年12月4日(金)から 平成22年2月14日(日)まで		



4) 事業目標と効果測定について

事業目標として売上高の10%として取組を行いその結果は以下のとおり。

調査結果

販売開始の12月(12/16～)は、前年売上を若干上回る売上高でしたが、1月はイベント(寒鰯まつり)の効果が非常に大きく前年比で20%以上の伸びを示し月単位で効果測定をすれば目標を達成している。

2月については、季節的な要因も加わり前年比では下回っておりますが、全体的には目標を下回りましたが前年を上回る状況になっている。

分析結果

定期的なチラシでの周知と関係する地区イベントの有効活用により集客が期待できる事が調査結果として表れており、今後は、イベントの無い時期の消費者との信頼関係(品質・品揃えや商品説明など)が必要である。

オープン前とオープン後では、歩行者が43名から59名と37%増加しており、確実に増えていることが伺われます。来店者数の客単価については、野菜中心の販売形態であり、12月が852円、1月が416円、2月が512円となっており、平均すると1人当たり500円前後の客単価になっている。

第3章 今後の課題

第1節 本事業の総括

農産品の仕入れについては、冬期間の農産品の供給で、特に露地野菜について需要と供給のバランスで安定した供給が大変な時期もあり、今後は、事業に協力を頂いた地元生産者団体の林際21の会（代表 山内範一）との連携強化を図りながら安定した生産供給体制のネットワーク構築を進める事が必要である。

又、関係団体（JA南三陸など）の生産・流通などの現状についての指導を踏まえての情報交換も必要不可欠である。

地元農林水産品をベースにした「食育」では、野菜の生産方法について農薬の使用の有無や農薬の使用履歴を記録するなど意識改革が必要な点もあり、今後も継続的に協議を行いたいと思う。

「協働」については、生産する側と販売する側が同じ視点に立って、お互いに力を合わせて生産供給体制を確立し、客単価を上げる工夫をするなど具体的な取組を行いたい。

商店街の活性化について、新・がんばる商店街77選に選定されている「おさかな通り」をメインに「寒鰯まつり事業」（商店街企画事業）や志津川地区のイベント「かき祭り」（商工会企画事業）など地域全体での活性化イベントへの参加により、商店街の活性化に寄与したものと自負している。

自社と致しましても、隣接する商店街（十日町、五日町、本浜町等）や町観光協会などの関係団体と一致団結し、「点の商店街から線の商店街へ、そして立体的な商店街」へとした、賑わいのある商店街に出来ればと考えます。

今回の地域流通モデル構築支援事業（商店街活性化タイプ）実証事業を通じて、地域活動との接点について目途がついたと思っている。

第2節 今後の課題

今回の事業を機会に自社の更なる経営安定化を図り、地域商店街全体の魅力を向上させると共に行政（町）のアドバイスや農協・漁協・商工会など流通版「農商工業連携」のサポートの構築が可能であれば非常に心強いものがある。

露地野菜の生産者の方々とは、今後も良きパートナーとしてしっかりと連携し、農産品生産者の方々並びにこの取組を地域全体に波及させて行きたいと思っています。